

県政150周年記念 絵画・作文コンクール（高等学校作文部門）

【最優秀賞】

作品テーマ「今がチャンス!」

長崎県立長崎西高等学校 2年 ^{たけした}竹下 ^{こはる}湖春

一五〇年。ここ「長崎」という地は、この長い年月を、時代の変化とともに、あるいは、世界の変化とともに歩んできた。そして今、「長崎」が変わる。大きく生まれ変わるのだ。考えるだけでわくわくするような、そんな素敵な長崎の「未来」がまさに今創られている。県庁の移転。スタジアムの建設。そして、新幹線の開通。私が生まれ育った街はすさまじい勢いで生まれ変わっている。私は、これからの「建設中の未来」を目にするたびにわくわくが止まらない。大好きな長崎がパワーアップすることを想像すると嬉しくてたまらないのだ。そして同時に、「これは長崎のチャンスだ」と思うのである。ここでは、一足先に長崎の未来を旅しながら、私が思う三つのチャンスについて考えていこうと思う。

「きれいな街だ」「なんて魅力あふれる街なんだ」こんな声が聞こえてくる県庁周辺。県庁が新しくなったことで街の景色は大きく変わった。緑が増え、心地よい風が吹き抜ける。水辺に建てられた県庁は港町長崎にふさわしい凜とした雰囲気をもっている。広い範囲での行政サービスを担う県庁がこのように美しいというのは、あらゆる人々に長崎をアピールできるチャンスである。

「次はあっちを見に行こう」「今度はどこに行こうかな」子どもから大人まで多くの人々の笑顔があふれる。ここは、長崎スタジアムシティ、そして長崎駅である。多くの人々が県外から訪れ、長崎が誇る食べ物や夜景と出会う。もちろん県外への移動も大幅に便利になり、九州がぎゅっと一つになる。スタジアムシティでは試合観戦に白熱し、エンターテイメントに盛り上がる。長崎県民も、長崎を初めて訪れた人も、誰もが一日中楽しめるそんな素敵な場所である。言うまでもなく、これは、多くの人に長崎を訪れてもらい、長崎を心の底から楽しんでもらえる点でビックチャンスである。

そして三つめ。「また長崎で暮らしたい」そんな声が聞こえてくる。現在、長崎は人口流出が大きな問題となっている。だが、現在進行中のこの「長崎革命」はこの問題に立ち向かうことができる。つまり、人口流出を止めるチャンスなのだ。

ここまで三つのチャンスについて考えてきたが、もちろん、「新しい」から良いのではない。長崎には日本、世界に誇れる伝統あるものがたくさんある。現在建設中の「新しい」ものたちは、この「伝統」に出会うかけ橋にもなりうるのだ。新幹線に乗って来た人々が長崎でおいしいものを食べる。スタジアムシティで遊んだ人々が夜景を見に行く。一度長崎を出た人々が長崎の魅力を再発見する。こうして、歴史が深い長崎が、魅力あふれる長崎が、私の大好きな長崎がこれからも笑顔であふれてほしい。今の「未来」が「過去」になったときも笑顔があふれていますように。

【優秀賞】

作品テーマ「お菓子で幸せを」

長崎県立島原農業高等学校 1年 ^{かわた}川田 ^{さや}紗矢

私は今、島原農業高校の食品サイエンス科で栄養や食品を製造する技術を学んでいます。最初私がここで学ぼうと思ったきっかけは、地元島原の食材をより美味しく調理して、その美味しさを多くの人に知ってもらいたいという思いからでした。そして学んでいくうちに「食」や地元の知識が増えていき、自分の「食」に対する思いも強くなっていきました。それに加えて、私はものを作ったり、細かい作業をしたりすることが好きなため、「食」について日々楽しく学んでいます。

その中で特に今、興味を持って取り組んでいるのは、食品製造の授業です。というのは、実習でお菓子やパン、ケーキなどを作り、「スクールマーケット」の中で販売することもあり、他の人と協力して食品を作り、家族や友だちに「美味しいー」と言ってもらえるのがとても嬉しいからです。それに私は食べることも好きなため、自分たちで作った出来たての食品を試食させてもらえたときも幸せだからです。

この高校三年間のうちに食品についての知識や技術を身に付け、将来はお菓子を製造する製菓職人になりたいと思っています。お菓子をたくさんの人に食べてもらい、多くの人に幸せな気持ちを届けたいと思っています。

さて、長崎県の未来について、「長崎レボリューション4.0」という長崎県が力を入れている取り組みについて学びました。その中で特に、長崎空港の二十四時間化や九州新幹線西九州ルートの開業というのは、私の夢である、製菓職人と深く関係があると思います。それらの実現によって、人々の往来が活発になれば、遠くに住む人にも自分の作ったお菓子を食べてもらうことができます。

また、長崎空港が二十四時間利用できるということは、日本の東側だけでなく、目を西に転ずるとアジアのアクセスも格段に良くなるということなのです。

長崎は地政学的に、東アジアの中心に位置する重要地点です。この特性を生かして江戸時代は出島貿易で日本の重要地点でした。今まさに、この位置に復権できるチャンスが到来しているのだと思います。

日本のお菓子はアジア諸国で高い評価をいただいています。その利点を活かしてアジア諸国の方に、長崎のお菓子の美味しさを広めていきたいと思っています。例えば、台湾では「長崎カステラ」は高級ブランド品で、長崎特産品即売会では、すぐに完売してしまうほどだそうです。

長崎が南蛮貿易で栄えていた頃、長崎は「シュガーロード」の起点として、長崎だけでなく、長崎街道の沿線にお菓子の文化を築いてきたという伝統があります。長崎では、カステラ、よりより、とら巻きなど即座にいくつかのお菓子を思いうかべることができます。

私たちが働く未来の長崎県で、私はお菓子作りを通して、ささやかながら、貢献できることを喜びにしたいと思っています。